

「山形市男女共同参画センター・ファーラ」の見学

山形市男女共同参画センター・ファーラは山形市総合福祉センターとの複合施設です。1階から3階までが総合福祉センター、4、5階が男女共同参画センター・ファーラとなっています。fala は、female 《女性》と ala 《翼》を組み合わせた造語で、fala の fにはいろいろな願いが込められています。“fresh 《新鮮な》、fight 《ファイト》を持って、full 《沢山の》、free 《自由な》発想で、fellow 《仲間》で、future 《未来》に、fly 《飛躍》しよう！”です。

会議室・研修室が使用されていたため、中を充分に見学することはできませんでしたが、交流コーナーでセンター所長（女性）からお話をうかがい、懇談しました。

内容

- ・山形市の男女共同参画推進条は本年度平成 25 年 4 月 1 日に施行された。
- ・平成 18 年 4 月 1 日より、山形市からの指定を受け社会福祉協議会が指定管理者として管理代行を行っている。
- ・登録団体は 119 団体。周辺自治体（上山市、天童市、山辺町、中山町）との定住自立圏連携事業により、山形市民のみならず、上山市、天童市、山辺町、中山町在住の 5 人以上のグループ・団体（代表者が、山形市、上山市、天童市、山辺町又は中山町に在住）が登録できるようになっている。
- ・施設の利用は事前申し込み制だが空いていれば当日朝でも申し込める。
- ・利用料は他市町の住民での一部例外はあるが原則無料である。
- ・昨年度実施された事業は
①学習②イベント③広報④市民活動支援⑤相談⑥情報収集提供⑦交流
その中で相談事業についての質問が相次いだ。一般相談は 4 人の女性カウンセラーが交代制で祝日・振替休日・年末年始の休館日を除き、毎日対応している。

総合福祉センター内には温泉施設（男女浴室、障がい者浴室）（安価で入れる）や授産品展示販売コーナーもあり、建物全体に親しみやすさがあり、利用しやすいのではないかと思います。短い時間だったのもう少し深く知りたい、もう一度訪れてみたいと思う施設見学でした。

村山市立図書館研修視察報告

日時 2013年12月1日(日) 10時30分～12時40分
場所 山形県村山市立図書館

立地・・・JR村山駅近くにある村山市総合文化複合施設の中にある
面積・・・1,299m²
蔵書数・・・97,870冊
運営方法・・・市が直営
開館時間・・・平日 10:00～19:00
 土日祝日 9:00～17:00

2010年に市民に読書活動や言語力向上を推進するため、「読書シティむらやま」を宣言し、市全体で意識の高揚と周知を図っている。

具体的な事業

1. 全国発信事業

全国読書川柳コンクールの実施。読書への感心を高めてもらうため、本・図書館等に関する川柳を全国から募集し、優秀作品を表彰する。

2. ユニークな事業

- ・貸切図書館・・・開館前、開館後の図書館を学校・学年・職場やサークルで貸切って読書を楽しむ。
- ・夜の図書館・・・四季ごとに一日、土曜日の17時から21時30分の間、お茶も準備された開館。
- ・贈り物事業・・・小学校入学時、中学校入学時にリストの中から一冊選んでもらって全員にプレゼント。
- ・プレママの絵本教室・・・世界で一冊のオリジナル絵本(アルバム)を赤ちゃんのために手作りする。
- ・甕葉プラザ(図書館がある建物の愛称)応援団加盟店との協力・・・地元の加盟店で図書館利用者カードを提示するといろいろなサービスが受けられる。

3. 会津図書館との大きな違い

- ・移動図書館車を年間を通じて、巡回している。(会津図書館は冬季は運行せず)
- ・図書館協議会委員に利用者が入っている。(6名中2名)
- ・学校図書館に専門の職員が配置されている。

[感想]

甕葉プラザ(図書館のある建物)全体で市民の催し物が開かれていました。多くの人が集まる時の駐車場は周囲の施設との共用などで駅近く、中心市街地という立地でも心配せずに参加でき、すべて無料ということです。広場でのバザールの賑わい、ホールの入口が開いているの大音響音楽も図書館部分では気になりませんでした。

男女共同参画図書は「コーナー」として、別置されていて約400～500冊の関連図書は一般書架に配架されていました。

児童書のコーナー、おはなしのへやは入ってすぐのところであり、少々声が出たり、騒がしくなっても、他の大人の利用者に邪魔にならないよう設計されていて多くの親子が利用していました。小さいころから本に親しむことで、自分で考え、自分で行動出来る「生きる力」を育む場所としての図書館の重要性を感じました。

多くの市民が集って休日を楽しんでいる中、図書館も子どもから大人までが、それぞれの利用をして賑わっていて、市民に愛されている図書館を感じました。「読書シティ」宣言をしているだけあり、少ない図書館職員で知恵をしぼり、工夫をし、市民と協力しあっている図書館づくりが強く感じられました。今回の研修視察で学んだことを活かし、会津図書館へも利用者の立場からよりよい図書館づくりをしてもらえるよう働きかけていきたいと考えています。

平成25年12月1日（日）山形県村山市・山形市視察研修決算書

収 入

科 目	金 額	摘 要
会 費	38,000	2,000円×19人
補 助 金	37,900	会津若松市より
	289	男女共生の会より
合 計	76,189	

支 出

科 目	金 額	摘 要
車借り上げ料	70,050	67,200車借り上げ料 2,850高速料
通 信 費	4,400	4,400 切手
事 務 費	1,739	939 用紙・封筒 200 コピー 600 印刷代
合 計	76,189	